

出張報告

報告日

令和5年2月8日

会 派 名	社会クラブ・柏崎のみらい連合
報告者氏名	飯塚 寿之
種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究（ <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察） <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用 務	信州型自然保育「信州やまほいく」認定制度
日 時	2023年1月24日（火） ～ 2023年1月24日（火）
場 所 (会 場)	長野県県民文化部 こども若者局 こども・家庭課 長野県議会 応接室
調査項目等	認定制度に至る基本的考え方、背景、事業概要について 自然保育が支持される理由
概 要	<p>■研修内容</p> <p>(1) 信州型自然保育認定制度のはじまり (2) 自然保育が支持される理由 (3) 子ども、保護者、事業者、自治体それぞれの満足度、事業評価 (4) 事業継続にむけた課題 (5) 推進施策、事業（別紙参照）</p> <p>■応対者</p> <p>長野県県民文化部 こども若者局 こども・家庭課 宮下 尚子 課長補佐 藤田 良子 自然保育普及および推進員</p>
所 感 等	<p>長野県の面積の8割を森林が占める。自然の恵みを活かし、自然への感謝の気持ちを醸成しながら、自ら学び成長しようとする力を育むために「信州やまほいく」認定制度が平成27年から開始された。</p> <p>これまで長野県として普及、推進に努めてきた結果、2022年10月時点で、やまほいく認定園は43市町村、270園まで拡大してきた。本制度による財政支出はさほど大きくない。事業評価、満足度から長野県としてはさらに普及、推進に取り組んでいく考えである。</p> <p>長野県は移住者が多いことで知られている。その中でも自然の中で伸び伸びと独自の保育環境、教育環境を求めて移住する子育て世代が多い。移住定住施策においても参考となる取り組みである。</p> <p>事業継続においては「すべてにおいて安全であること」が重要であり、施設含め、園内活動の安全対策には厳しい基準、配慮が求められる。</p> <p>柏崎市は少子化により中山間地域の保育園の統廃合が進んでいく傾向である。地域の特色を生かし、地域資源をおおいに活用しながら少人数・小規模でも特色ある運営を研究すべきではないか。</p>